

「かわせみ会」便り

＜皇月/水無月/文月＞

令和7年 9月149号

俳句を楽しむ会



皆さんの投句を
お待ちしております！

“李語刻愛秀句”

【5月＜皇月＞】“照り返す薨光りて夏近し”（3人選句）

【6月＜水無月＞】“半夏生草沼地に白く群れ集い”（4人選句）

【7月＜文月＞】“添書に招き文あり夏見舞い”（3人選句）

“連日の日照りに向日葵頭さげ”（3人選句）

“参加メンバーによる2人以上の選句”

“古城と芝桜”《大野市》



“傘色々”《小松市陶芸村》



“玉水ゆり園”《丹波篠山》



#83回 皇月の詠句

＊アパートの窓に小さき鯉のぼり
＊腹満たす端午ちかく鯉織
虫を追い水面をかすめとぶ燕
桜んぼ撮る観る採るが競ひ合い
降り出して舞子彩傘京の街

#84回 水無月の詠句

＊奥山の御堂に続く紫陽花路
＊あけびの子熟し割れる日まだ遠し
＊雨粒の零れを止め蓮浮葉
＊千枚田棚田に青き夜が充つる
＊大輪の紫陽花に雨煌めきて
＊梅雨ばしり色とりどりの傘の列
＊走り梅雨軒下借りて羽繕い

#85回 文月の詠句

＊参道のイカ焼き臭う夜店かなり
＊子育ても夜店もはるか遠きなり
＊縁日の屋台口上の屋かな
＊参道に焼く香煮る香や夜店の灯
＊打水に浴衣涼しき下駄の音
＊紅に染めて国見山に夏の雲
＊方の蟬の初鳴き老いも増し



＊兼題《鯉のぼり》



＊兼題《紫陽花》



＊兼題《夜店》

＊ 写 真 を 見 て 一 句 ＊

“披講時のチョット耳学”

“2024/10～2025/3 間成績”

① 雑詠) 猪目窓に句いまで見ゆ半夏生草

京都府宇治市原町



正寿院(風鈴寺)
[ハート/猪の目の形]

＊丸窓の例:

鎌倉あじさい寺で有名な明月院



② 紫陽花 ≠ 手毬花
＜テマリバナ＞



植物としての表現時は “
草”を語尾に付“半夏生草”

③ 多羅葉の木の葉



“葉書”の語源



選句センスレベル2位賞[豊村]

くらわんか賞[鳥越]

菊花賞/優秀賞[金子]

かわせみ賞/優秀賞
/最多選句3位賞[林]

選句センス/レベル各3位賞[川橋]



会員の皆さん

こんにちは！

気軽に参加してください。

担当幹事: 園田・金子・川橋・榎木